

(特非) 横浜LCA環境教育研究会

# ライフサイクル思考に基づく 環境教育法・環境情報の提供

入門助成

1年目

知識の提供・  
普及啓発



高校でのカレーライスと温暖化の講義

ネットスライド  
公開ページ閲覧数

40%増

高校(または中学)での  
環境教育での活用

4回

活動の全体目標に  
対する達成度

80%

## 課 題

環境配慮行動の中には、ある一面だけを捉えて環境に優しいという誤った判断をされる場合がある。行動のライフサイクルをイメージした環境影響を考える視点が必要である。

## 目 標

日常生活の中の消費行動などのライフサイクルをイメージし、地球規模での間接的な環境影響も考慮した環境配慮行動が実践できる市民を育てる教育プログラム、ツールの開発及び環境情報の提供。

## 活動内容

①消費行動(カレーライス、タオルの洗濯、マイバッグ、部活動合宿)のライフサイクル(原料生産、製品製造、使用(例:調理、洗濯・洗浄)、廃棄)の温暖化影響評価とこれらを活用した教材スライド作成 ② ①を使った中高生への環境学習実践 ③ ①の環境教育実践者への研修 ④ ①のWEBダウンロードサイトの作成と情報提供(③、エコプロダクツ展、大学等) ⑤リユース食器事業環境影響評価算出用ソフトウェアの開発



中学でのタオルの洗濯による  
温暖化の講義

## 達成できなかったこと

WEBでのアクセス数が伸びなかった。原因の一つにWEBのアクセスを誘導するフェイスブックやツイッター、メールマガジンでの呼びかけが十分できなかったことがあげられる。

## 今後の展望

部活動スライドについては未完であり完成させる。リユース食器計算ソフトのダウンロードサイトを作成する。

## 成果と工夫した ポイント



### 成果

高校生約1,000人(2校)、中学生135人(2校)の約400人分の学習後感想文のうち、半分程度に環境に配慮した消費をしたいという意図を記載しており、500人程度の環境行動実行意図が誘導できたと推定。

### 工夫

学習教材のタイトルをカレーライス、マイバッグといっただれにでもわかり、ネット検索も容易な用語を使用した。